

# 九州大学海外派遣留学生 最終報告書

※ 帰国後 15 日以内に提出してください。  
 ※ 提出された情報は、海外留学 HP に掲載します。(色のついた部分は掲載しません)

留学先大学名	国立台湾大学 (国名: 台湾 )		
留学先学部名(またはプログラム名)	生物資源暨農學院森林環境暨資源學研究所		
留学期間	2013 年 9 月 ~ 2014 年 7 月		
学部/学府・年次	生物資源環境科	学部/学府	博士2年~ 3年次
留学により卒業または修了が遅れる見込みの有無とその期間	有・無 (期間: 約1年 )		
遅れる見込みの方はその理由を書いてください (NO.に○印をつける)	1. 4年次に留学したため 2. 単位が不足するため 3. 新卒で就職したため 4. その他(具体的に記入) 論文投稿のための準備(言語習得とその後の調査)に時間を要するため。		
卒業を遅らせないためにどのような配慮や工夫をしましたか?			
進路の予定	1. 就職 ( 時期: 4月から / ( )年 ( )月から ) 2. 大学院進学( 大学 学府/研究科 ) 3. その他(具体的に: 博士号取得後就職 )		
前項で1と答えた方は、就活時期と方法を教えてください(予定を含む)			
進学先や就職先の選定に、留学経験が影響しましたか?	いいえ		
留学経験は就職活動の際に役立ちましたか?	役立つと思われる		
<b>1. 留学先大学について</b>			
授業(カリキュラム等)の概要について	・留学生向けに台湾大学の語学センターが中国語のクラスを開講し力を入れている一方、英語の授業(台湾の紹介や台湾の経済発展等)も充実している。 ・分野により偏りはあるが英語の授業も多く、中国語が出来なくても授業を履修することができると思う。 ・英語の授業は討論ディスカッションが多く、英文文献に目を通す時間も多く必要。		

<p>留学先大学のサポート体制について (語学面／勉学面／精神面／住居・生活面など)</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・語学面 中国語の授業 (週2もしくは3 計6時間) 希望制のエンハンスクラス(中国語、週2 計4時間)</li> <li>・勉学・生活面等全体 留学生1人1人にそれぞれ学生ボランティアスタッフが付きお世話してくれるので相談しやすく安心です。</li> <li>・住居面 寮は大学近くにあり、各棟1階には管理スタッフが駐在し英語(まれに日本語)でいろいろと対応してくれる。</li> </ul> <p>全体的にサポートは充実している。</p>
<p>留学先大学に対する感想</p>	<p>台湾大學は日本統治時代に建設された旧帝国大学で雰囲気も日本に近いです。歴史がある台湾における最高学府であり、きれいなキャンパスが魅力的です。現在は海外から多くの(交換)留学生を受け入れ国際色も豊かな印象です。図書館には数多くの英文書籍、日本語書籍があります。海外ながら日本人にとって精神的に最も身近であると同時に、世界と繋がれる場所だと思えます。</p> <p>多くの海外留学生と知り合えるとともに、多くの台湾人と出会え、勉学環境、生活環境、留学環境いずれにおいてもとても素晴らしい大学です。</p>

<p>同じ大学への留学を希望する人々へのアドバイス</p>	<p>日本にとっても似ている(親近感がわく)場所もあるとともに世界にも触れられる留学生としては最高の場所です。積極的に多くの留学生、台湾人学生と関わっていけば留学後も世界中と繋がれると思います。</p> <p>食べ物が安くて美味しく、人もやさしく、漢字と日本語が身近にある環境であり、英語と中国語2つの言語の上達もできると思います。</p> <p>日本語を学ぶ台湾人学生も多く、台湾へ来る日本人も少なくないですが、頼りすぎず目標と目的を忘れず頑張っていけば素晴らしい留学生活になることは間違いないです。</p> <p>你繼續加油、就沒問題了。</p>
<p><b>2. 事前手続き(ビザ申請など)</b></p>	
<p>ビザの種類</p>	<p>居住ビザ (現地にて観光ビザからの変更も可能)</p>
<p>ビザ申請先</p>	<p>台北駐日経済文化代表処(福岡にも分処あり)</p>
<p>必要書類、手続き方法</p>	<p>パスポート(期限残り6ヶ月以上)、申請書、留学先の学校の入学許可証と写し、HIV検査を含めた健康診断書。</p> <p>方法: 台北駐日経済文化代表処 福岡市中央区桜坂3-12-42に書類提出、受取</p> <p>台北駐日経済文化代表処HP: <a href="http://www.roc-taiwan.org/JP/mp.asp?mp=202">http://www.roc-taiwan.org/JP/mp.asp?mp=202</a></p>
<p>手続きに要した時間</p>	<p>健康診断書(HIV検査結果待ち)入手に2, 3週間かかる 書類提出後は翌日に発行される</p>
<p>その他必要な事前手続き</p>	<p>HIV検査(ほか特殊な検査)ができるかどうかを付近の病院医療機関に問い合わせる必要あり。</p>

3. 日常生活	
日常生活の概要、感想	<p>台北は福岡よりも人口が多く栄えており日本系デパート(SOGOや三越)もあるので不便は感じないです。外食文化で朝から夜まで外食ですが、贅沢しなければ安くて美味しいもの(チャーハン、角煮丼など)を食べられます。</p> <p>トイレトペーパー、ティッシュを水に流さない、緑茶は無糖のものを買う等少しのことに気かければ日本とほぼ変わらない生活は出来ると思います。</p> <p>天候については夏暑くて冬想像以上に寒い、雨の日が多く続く等あります。折り畳み傘は必須で、冬の防寒対策も必要です(バスタブがなくシャワーだけなのもすこしこたえます)。</p>
生活費(月額)及びおおよその内訳(円換算で)	<p>生活費計 50,000 —65,000 円/月</p> <p>(生活費内訳)住居費:26,000 円、光熱水料: 500 円、通学費:0 円、食費: 20,000—35,000 円、電話代: 1,000 円、インターネット代: 450 円、書籍代: 2,000—3,000 円</p> <p>その他:(具体的に)</p> <p>学費・寮費以外に大学へ納入するもの(あれば) 円</p> <p>(徴収された費用の名目を具体的に: )</p>
日本から持参した方がよいもの(PCや変圧器等の要不要も)	<p>ノートパソコンと電子辞書。冬過ごすのであれば防寒セーター等も。</p> <p>変圧器はいらないです。</p>
これから留学する人への、日常生活(治安対策を含め)に関するアドバイス	<p>外が暑く室内はクーラーが効きすぎているので気温差への対応が大事です。</p> <p>あと食べ物が安くて美味しく少し油っぽいのと、タピオカミルクティーなど美味しい飲み物もたくさんあるため太りやすいです。素食(ベジタリアンレストラン)を活用したり、ジムなどで運動したりするのをおすすめします。</p>
お金の管理や受け取り(銀行口座開設や海外送金、またはクレジットカード持参など)について、貴方の留学先国で最も適当な方法を教えてください。	<p>ATMのある場所も多いのでカードが便利です。</p> <p>クレジットカードを2枚持つと良いと思います。(経験上1枚で、1枚が使えなくなった場合が困るので)</p> <p>福岡銀行の「あれこれカード」はとても便利で助かりました。</p>

4. 住居、生活環境		
住居の種類(○印をつける)	<input checked="" type="radio"/> 寮 ・ホームステイ ・民間アパート ・その他( )	
住所／電話番号	台北市中正區思源街 16-2 號 (A 棟)、16-3 號 (B 棟)、16-5 號 (C 棟) 電話: 02-2363-1066 (國際電話 010-886-2-2363-1066)	
費用(月額)	7,400 台湾ドル (約 26,000 円) 2人部屋 5,800 台湾ドル(約 20,500 円)	
どのようにして見つけたか	大学からの紹介	
次期留学生に推薦できるかどうか、およびその理由。	台北市内の地価からすると寮は比較的安いのでお勧めできます。ただ、壁が薄いシャワーの温水が出にくい等あります。 1 人部屋、2 人部屋はそれぞれ良し悪しです個人の選択によります。 2 人部屋で台湾人と同じ部屋になった子は中国語が使えて上達すると語っていました。	
留學生活を送る上で次期留学生に伝えたい地域情報、生活情報	台北は曇り、雨の日が多いので折り畳み傘は必須です。  学生証の裏にはICカード(悠遊カード)が付いておりどこに行くにも便利です。 台北市内(特に地下鉄MRT駅付近)のいろんな場所にレンタサイクルの Youbike が置いてあり数 10 分以内は無料だと思います。携帯番号等入力すればすぐ使えるのでぜひ利用してみてください。	
5. 準備段階や留學中に役に立ったウェブサイト		
サイト名	URL	コメント
まるごと台湾	<a href="http://www.taiwankanko.com/friendbbs/index.cgi">http://www.taiwankanko.com/friendbbs/index.cgi</a>	言語交換の相手(台湾人で日本語を習いたい、話したい、日本人と友達になりたい人)を探せます。語学力向上に。

## 6. その他の特記事項

台湾は親日家の方が多いことで知られていますが、もちろんそうでない方もいらっしゃいます。原住民と漢民族などからなる多民族国家であり、漢民族同士でも本省人、外省人の対立などの経緯、台湾の歴史については少し知識を得て勉強してから留学に行った方が良いと思います。